記者発表資料

平　成　２２年　８月　１９日
国土交通省　青森河川国道事務所

一般国道7号　青森環状道路（４車線化）が開通して１年、筒井交差点の渋滞が解消し、走行速度も向上しました

昨年の７月２７日に４車線道路として開通しました、一般国道７号青森環状道路（青森市大字筒井（つつい）～同市大字後潟（うしろやち）地内、延長約４．４km）の開通１年後の交通状況についてお知らせします。

また、周辺企業へのアンケート調査結果についてもお知らせします。

■主要渋滞交差点の「筒井交差点」の渋滞が大幅に解消しました。

	渋滞長（m）		通過時間（分）	
	開　通　前	開通１年後	開　通　前	開通１年後
上り線（弘前方向）	1,400m	160m	13 分	1 分
下り線（浅虫方向）	700m	150m	5 分	1 分

■４車線化により走行速度も向上しました。

開通前：２４．０km／h　→　開通１年後：３０．０km／h

【６．０km／h向上】

■ CO_2 排出量が削減しました。

開通前：4,700t／年　→　開通１年後：4,400t／年

【CO_2 排出削減量：300t-CO_2／年】

■ 周辺企業へのアンケート調査の結果、「現道の混雑緩和」という回答が約８割（１４社のうち１１社が回答）にのぼり、周辺企業が開通効果として実感しています。

※詳細については別添資料を参照してください。

〈　記者発表先：青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社　〉

【問い合わせ先】

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
住所　：　青森市中央３丁目２０－３８
電話　：　０１７－７３４－４５２１（代表）
URL http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/toroidal/

副所長（道路）　永井（ながい）　浩泰（ひろやす）（内線２０５）
調査第二課長　能勢（のせ）　和彦（かずひこ）（内線４５１）

一般国道7号

青森環状道路の開通から1年が経過して（平成21年7月27日開通）

①交差点の渋滞が解消し走行速度も向上
②Co2排出量が削減



- 事業経過：平成14年度　全線2車開通
- 事業延長：4．4km（平成21年7月27日 4車線開通）
- 幅　　員：28．0m

①筒井交差点の渋滞が大幅に解消

H20．11．19【開通前】



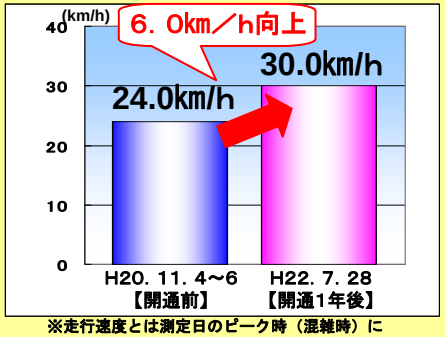
渋　滞　長：1，400m（上り線）
通過時間：13分（上り線）

H22．7．28【開通1年後】



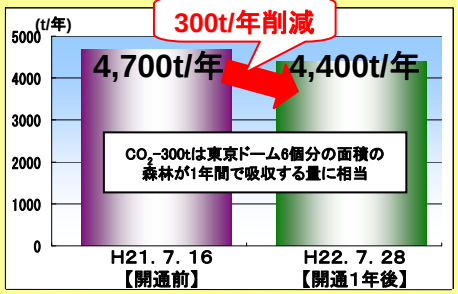
渋　滞　長：160m（上り線）
通過時間：1分（上り線）

②走行速度が6．0km／h向上



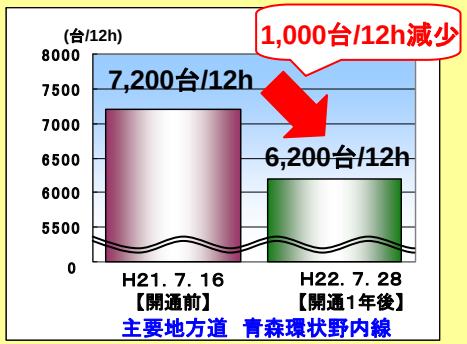
※走行速度とは測定日のピーク時（混雑時）における走行速度（上下線の平均）である。

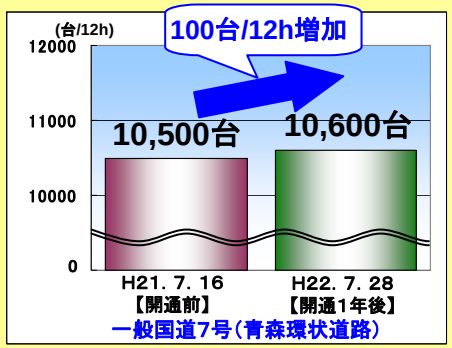
③CO_2排出量が300t/年削減



※CO_2排出量の算出は24時間交通量と速度より算出している。
※交通量は平日昼間（7時～19時）の交通量からH17センサスの昼夜率を用いて24時間の交通量を算出。
※速度は平日昼間（7～19時）は実測値、夜間（19～7時）は60km/hとした。

④周辺道路から国道への交通転換が見られる





※H22．7．28は高速道路無料化社会実験中であり、青森環状道路から並行する高速道路への転換も想定される。

一般国道7号

青森環状道路の開通から1年が経過して

（平成21年7月27日開通）

現道の混雑緩和を周辺企業も実感しています



開通1年後の一般国道7号の状況



開通前の一般国道7号の状況

青森河川国道事務所では、開通前後での効果を把握するため、青森環状道路の周辺企業１４社を対象にアンケート調査を実施しました。

○業務において4車線化になってよかったこと

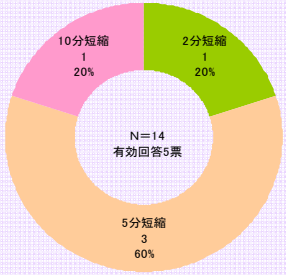
周辺企業へのアンケート調査の結果、『現道の混雑緩和』という回答が約8割（14社のうち11社が回答）と一番多く、次に『安全性向上』『快適性向上』について約5割の企業が開通効果として実感しています。



▲業務において4車線になってよかったこと

○実感している時間短縮効果は

約6割（回答いただいた5社のうち3社が回答）の企業が『5分短縮』と回答



▲実感している時間短縮効果は

○その他、周辺企業の声

- 車線減少による合流時の車線変更が無くなり安全になった。
- 以前から利用していたが、4車線化で混雑しなくなり、移動時間が短縮し快適になった。
- 時間短縮や効率アップのため開通した青森環状道路を利用するようになった。